

令和5年度 小見川中学校の教育

1 教育の目的

- 人を育てる（人財育成） ～ 集団での活動をとおして ～
- 全ての教育活動は意図的・計画的であり、生徒を育てるための手段と考える
・授業、部活動、学校行事、清掃指導、給食指導、その他

財を遺すは下、仕事を遺すは中、人を遺すは上とする — 後藤新平 —

※次世代を生きる人材を育てる教職という仕事に誇りとプライドを持ちましょう。

（参考）

教育基本法

（教育の目的）

第一条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

（義務教育）

第五条

2 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。

2 すべては信頼関係から ～日々、信頼貯金を殖やしましょう～

○生徒からの信頼、同僚からの信頼、保護者・地域からの信頼

（参考）

まずは信頼関係をつくる。

～ それが始まりであり、それが全て ～

— 柳井 正「経営者になるためのノート」より —

（管理職選考学習会より）

- 職員は言葉を言ったあとのあなたの背中に信頼性を見出す
- 言行一致で首尾一貫した人間であるかどうか ⇔ 朝令暮改
- 自分が職員からどう見られているか、時には意識してみる
 - ・ 10人中7人が・・・
- 迎合してはダメ、かといって嫌われてもダメ
 - ・ 坊主憎けりゃ袈裟まで憎い。
- パワハラ、セクハラだって・・・
 - ・ 「何をやったか」ではなく「誰がやったか」
 - ・ 「何を言ったか」ではなく「誰が言ったか」

3 まずは教師から（率先垂範）

○教師である前に、まず一人の自律した社会人でありたい。

- ・あいさつ、お礼、出勤簿の押印、時間を守る、提出物の提出期限を守る、電話対応、その他

※小見川中学校の電話対応（別紙）

○一人一人の生徒と「人対人」として誠実に向き合う人間性。

（参考）

日々是好日

以下は、私の持論です。大学を卒業してそのまま先生になった人は基本的に「学校社会」しか知りません。「先生の常識は世間の非常識」という言葉も耳にしますが、20代前半で教師になり、生徒や保護者から先生、先生と呼ばれているうちに、自分でも気づかないうちに勘違いをしてしまう。ややもするとそんな側面はないでしょうか。学校という入れ物の中で、先生と生徒という関係で、立場や年齢が違えば、当然そこにはあるべき態度や言葉遣いは必要です。でもそれは子どもたちが将来、社会に出た時に必要だから指導するのであって、決して先生が偉いわけではありません。また、この勘違いの延長線上には、わいせつ・セクハラやパワハラの不祥事だったり、人権問題、保護者からの先生に対する苦情などの問題が発生することも想像されます。「人対人」という感覚で、生徒と誠実に向き合える先生でありたいと思います。

（令和3年度「校長室から40」）

○生徒の成長に喜びを感じる感性。

○自ら成長しようとする意欲。

4 職員研修

○まず自らが成長する人でありたい。

（参考）

何よりも大切なことは指導者自身が輝いていること
輝いているためには、指導者が常に勉強している
そうすると、子どもたちもイキイキしてくる

— 藤重佳久 —

○若手育成と人財開発 ※本校のみならず教育界の課題

- ・若手研修の充実
- ・令和5年度育成重点教員の指名（加賀谷先生、田崎先生、井上先生）
※上記3名以外にも、希望する先生を指名します。

（参考）

人の成長は教える側のほうから「教えるから学んでくれ」というのではなく、
学ぶ側が「知りたい、学びたい」と教えを求めることから始まる。

— 令和3年度「校長室から28」より —

太陽の徳、広大なりといえども、芽を出さんとする念慮、
育たんとする気力なきものは仕方なし

— 二宮尊徳 —

○授業の充実 ※今年度は、さらにここに力を入れます！

- ・その授業（指導）で、生徒たちに何を身につけさせたいのか？
- ・自分の授業は生徒の立場で、わかりやすく魅力ある授業か？

○相互授業参観（本校のメリットを生かして）

- ・今年度も学校として組織的・計画的に実施（積極的な活用を！）

○分室、市教委の指導主事等の活用など

○攻めの姿勢 ～ 攻めの気持ちは十分な準備から ～

- ・すべてにねらいや目的をもって！（意図的・計画的）
- ・準備をしっかりと行う → 心がやりたくなる
- ・教室に入る時の心境は？

（参考）

先生方の心は元気ですか

以前の職場で多くの学校を訪問させて頂いた折、「これから授業で教室に入ろうとする時、先生方の心はどんな状態ですか」とよく問いかけをさせて頂きました。「今日の授業ではこんなことをしよう」と、いい意味で「攻めの心」の状態なのか。それとも心が消極的で受け身になってしまっているのか。子どもたちにしてみれば、先生の気持ちが乗っていて意図的に仕掛けてくる授業の方が楽しいに決まっています。そして、言われ尽くされたことですが「攻めの心」を作るために大切なのは、やはり「授業準備」です。子どもたちの顔を思い浮かべながら、授業の流れを計画し準備をすれば、教室に入る時には自然と心が攻めに転じます。

○教科部会の充実（教科主任を中心に）

- ・「主体的、対話的で深い学び」を中心に据えて
- ・月曜日の有効活用

5 学級経営の充実

- ・基本は一人一人の生徒と誠実に向き合うことから。
- ・毎朝の呼名をお願いします！（朝の呼名が学級経営の第一歩）
- ・どんなクラスにしたいのか！ そのために何をするのか。
- ・一人一人の生徒にとって居場所のあるクラス
- ・**歌声の響くクラス → 歌声の響く学校**

○道徳と特活の充実（今年の研究主題）

- ・令和4・5年度の小見川中学校の研究の中心
- ・今年度も道徳の時間を帯では取らない。

6 生徒指導の徹底

○あいさつ、黙動清掃、くつをそろえる（部活動でも同じ指導を）

※タイミングを選んで、くり返し、くり返し、指導をお願いします。

(参考)

日々是好日 ～ 一部省略 ～

ここで、4月1日にもお話しさせて頂いた「あいさつ・黙動清掃・くつをそろえる」ことの2つのねらいについて再確認します。一つ目のねらいは、なんと言っても、生徒たちがやがて社会に出た時にこれらの習慣を身につけてほしいからです。詳細は後期始業式でも全校生徒に直接話をしましたのでここでは省略します。

そして2つ目は、「生徒指導の徹底」です。ひとつの見方として、私は学校には教師集団と生徒集団の「力のせめぎ合い」があると考えます。生徒集団の勢いが教師集団の勢いを上回り、教師の指導が生徒に入らない、教師のコントロールがきかなくなった状態が「荒れた学校」です。私は中学生だからただ言うことをきかせようとか、個性を否定する気はまったくありません。でも、成長途中であるが故に彼らの心の中には、かっこのつけてみたい、おしゃれをしてみたい、時には先生に反抗的な態度を取ってみたいという気持ちがあるのも事実です。そして集団には「数の原理」が働きますので、先生がそういった生徒の心をうまくコントロールしてあげられないとあっという間にその数は増えていきます。人生というスパンで見た時に、中学生の時期は何にでも一生懸命に取り組んで、感動や時には挫折感を味わってほしいと私は考えます。でも、荒れた学校では前向きな雰囲気は否定され、学校全体が澱んだような空気になります。正統派の子どもが潰され、いじめだって起こりやすくなります。そんな学校にしないために、教師集団と生徒集団の力のせめぎ合いの攻防線（最前線）をどこに引くのか？「あいさつ・黙動清掃・くつをそろえる」のラインで、私たち職員が本気で生徒にぶつかっていれば、学校が大きく傾くことはありません。むしろ生徒たちのために建設的な指導がいくらでもできます。引き続き職員の方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

(令和4年度「校長室から25」)

- 生徒指導部会の（定期的な）開催
 - ・月曜日の有効活用
- サポートルームとスクールカウンセラーの有効活用
- 報告・連絡・相談・確認の徹底

7 部活動の充実

- 部活動も生徒を育てるための手段
 - ・勝つことが最終目的ではなく、そこに向かわせる指導過程の充実を。
 - ・生徒個々の持っている力を発揮させる指導。
 - ・地域移行への準備

8 学校行事の充実

- 学年経営や学級経営に行事を利用するという発想で！
 - ・入学式、修学旅行、遠足、体育祭、合唱コンクール、3年生を送る会、卒業式、学校公開、その他

9 情報の共有化（見える化）

- 学校内の情報を見える化し、共有する。
- 学年間の壁の解消 ※今年度ここは強力に改善したい。

10 ICT化と働き方改革の推進

- 校務分掌への位置づけ
 - ・働き方改革の推進
 - ・教師のICT活用の推進（ベテランの先生も積極的にお願いします）

11 保健室と事務室との連携

- 保健室
 - ・生徒指導、教育相談を中心にSC、学年・学級との連携強化
- 事務室
 - ・校内運営や分掌業務において、事務室と連携を図り、職員それぞれが責任と役割を果たすことにより、業務改善と学校の事務機能の強化を目指す。

12 地域に開かれた学校

- 学校ホームページの内容の充実と継続
- 年間2回の学校公開と部活動公開
- 学校評議員会の活用
- 学校評価アンケートの活用
- 内側にも開かれた学校（透明性のある組織） ※学年間の壁の解消

13 モラルアップ委員会と不祥事の根絶

- モラルアップ委員会の定期的な開催と内容の充実
- 風通しの良い職場作り
 - ・言わないことが不親切
- 自分のこととして受け止める
- 想像力を働かせる

14 小見川中学校職員として

- 歴史と伝統のある小見川中学校の職員であることに誇りを持ちましょう！
- 自ら、仕事そのものにおもしろさを見出す！

（参考）

ハーツバーグ氏は工場労働者から会社重役にいたるあらゆる階層の人たち数千人の仕事に対する態度を研究した。仕事への意欲をもっとも強くかき立てる要件として、この行動科学者が発見したのは何であったか？金？労働条件？諸手当？いずれも否。最大の要件は、仕事そのものだったのである。仕事がおもしろければ、誰でも仕事をしたがり、立派にやり遂げようと意欲を燃やす。

○組織（小見川中）は人（職員）を成長させる道具である
・自分の成長のために、小見川中を活用してください。

（参考）

組織に働く者が成長するとき、組織はさらに多くをなしとげる。しかも、組織が真剣さ、真摯さ、意識、能力において成長するほど、そこに働く者が人として成長する。

— ドラッカー —

○目の前の生徒たちのために、まず教師が本気になる！

（参考）

本気
本気になると
世界が変わってくる
自分が変わってくる
変わってこなかったら
まだ本気になっていない証拠だ
本気な恋 本気な仕事
ああ 人間一度
こいつを つかまんことには

— 詩人 坂村真民 —

なにごととも
本腰にならねば
いい仕事はできない
新しい力も
生まれてはこない
本気であれ
本腰であれ

— 詩人 坂村真民 —